

自然ふれあい楽校サマースクール2016

環境カウンセラー養成支援講座 報告書

かながわ環境カウンセラー協議会 高橋 弘二

(横須賀「水と環境」研究会)

- 日時：2016年7月17日10時30分～12時20分
- 会場：湘南国際村センター206号室
- 受講者： 1名 (申込2名、1名は前日、蕁麻疹のため欠席とのメールあり)
- 担当：かながわ環境カウンセラー協議会横三支部 高橋 弘二 (横須賀「水と環境」研究会)
環境カウンセラー 今井俊一 (上山口町内会)

[内容]

1. 講義 (高橋)

下記の資料に基づいて、講義・解説を行った。

- (1) 平成28年度 環境カウンセラー募集要綱
- (2) パワーポイント作成資料「環境カウンセラー養成講座2016」

<要点>

- ① 市民部門は「活動年数が4年以上」
- ② 「環境保全活動等の経歴の詳細」の記載要領、大切なこと
- ③ 「実務経験証明書/活動実績証明書」・・・証明者の「公印」が必要
- ④ 課題論文「持続可能な地域づくり」
 - * 知識より、実体験に基づく記述
 - * 4,000字以内・・・3,500～4,000字で作成
 - * 審査する人の身になる=たくさんの人の論文を読む⇒読みやすい
 - ・ 起承転結
 - ・ 章/項目/ナンバリング
 - ・ 図表

2. 面接体験談 (今井)

- ① 実体験を中心に
- ② 知らないことは「知りません」でよい。
- ③ 「カウンセラーは相談されたことに答えるのが基本」、知識のひけらかしは、減点対象
- ④ 面接受験者は同時に複数(2、3名)の場合は他のひとへの配慮が大切

3. その他

- (1) 現在の環境保全活動の実績について話を伺った。
これまでの活動について、「環境との関連性、環境への配慮」といった観点で見直してみる。
- (2) 彼女は現在、「長坂沢山池の里山で、主として利活用の面でかかわっている」ので、共通話題・関連情報などについて話し合った。
- (3) 課題論文についての事前準備をしてきていなかったもので、今後、メールで指導・アドバイスすることで、12時過ぎに終了した。

以上